

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信

STOP! GLOBAL WARMING

うおーみんぐ

LET'S WARM UP OUR ACTION

平成 16 年
夏号
~ 第 2 号 ~

地球温暖化問題に取り組む人のための通信です。
実践活動への意欲を、アイデアを、仲間同士の関係を、ホットに温めます！



地球温暖化防止活動推進員研修会の様子（関連記事 4・7 面）

CONTENTS

巻頭特集

「あなたの街の家電店でも『省エネラベル』を！」…………… 2 ~ 3

CLOSE-UP 地域活動！

「イベントを活用した啓発活動」（福知山市）…… 4

温暖化対策の仲間たち

「気候ネットワーク」…………… 5

イベント情報・エコの豆知識 …………… 6

活動レポート …………… 7

事務局からのお知らせ 他 …………… 8



京都府地球温暖化防止活動推進センター

Kyoto Center for Climate Actions

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成15年10月10日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げたNPO法人京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援を受けて活動しています。

あなたの街の家電店でも「省エネラベル」を！

京都省エネラベル協議会設立！

伊東真吾（京都省エネラベル協議会 事務局長）

7月25日に、京都府地球温暖化防止活動推進センターも構成団体として参画する「京都省エネラベル協議会」が立ち上がりました。そこで、この協議会の事務局長、伊東真吾さんに、ラベル表示の効果や協議会設立の経緯、今後の展望などについて報告していただきました。

消費者の選択は「省エネ型」へ

冷夏だった昨年とは打って変わって今年は猛暑が続き、家電販売店でもエアコンの売れ行きが大幅に伸びています。しかしその売れ方に、これまでと異なった傾向がみられます。

これまでは、夏の需要期には省エネ性能の低い安いエアコンの売上が伸び、販売されるエアコンの平均省エネ性能が下がるのが通例でした。しかし、売上統計によると、全国的に今年の夏は、省エネ性能の高いエアコンの売上が伸び、この春と比べても平均省エネ性能が上がる傾向が出ています。

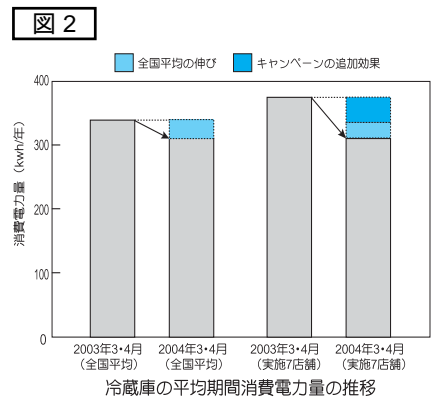
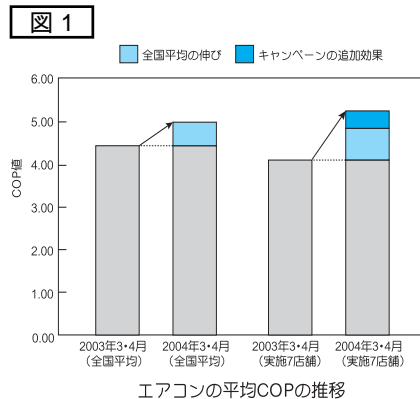
そうした傾向を後押ししているものが、店頭で消費者にわかりやすく省エネ性能を知らせるラベル等の表示です。とりわけ、京都で2003年春より取り組まれている「省エネラベル」が、この夏より首都圏や長野・高知などでも導入され、新たなスタンダードとなる兆しがみえています。

実証された「省エネラベル」の省エネルギー効果

2004年春に「京都省エネ製品グリーンコンシューマーキャンペーン」の一環として行われた家電販売店でのエアコン・冷蔵庫への「省エネラベル」表示によって、購買者がより省エネ性能の高い商品を選ぶことが、売上データの分析から明らかになりました。

図1・図2のように、省エネラベルに取り組んだ家電販売店では、期間中に販売されたエアコンの平均COP（エアコンの効率の良さを示す単位）、冷蔵庫の平均年間消費電力量のいずれも、前年度比で性能の向上が全国平均を上回りました。

その結果、省エネラベルを貼付した家電販売店でエアコン・冷蔵庫を購入した家庭では、今後10年間に約147万kWhの電気の省エネ効果が見込まれます。これは13軒の家庭に太陽光発電システムを設置したのと同程度の効果です。この取組で



1 kWh 節電するために必要であった費用は約 2 円にとどまり、費用対効果としても優れた成績であると考えられます。

二酸化炭素排出削減効果は今後 10 年間にわたって約 992 トン(火力平均換算)と推計されます。

.....
「京都省エネラベル協議会」発足
.....

7 月 25 日に、京都府地球温暖化防止活動推進センターを含む京都府内の環境団体・消費者団体・事業者団体・行政により、「京都省エネラベル協議会」(代表: 中島和子・京都市生活学校連絡会会長)が発足しました。「もはやキャンペーンではない。これからは常に省エネラベルが店に貼られている状態を作っていこう」ということで、京都府内約 160 店舗で省エネラベルの取組を進めています。

7 月 25 日に京都市内で行われた協議会設立記念シンポジウム「なるほど 賢い選び方がある」(写真)では、京都府内をはじめとして全国各地からの参加があり、「自分の地域でもぜひ取り組んでみたい」「消費者が店舗の取組をチェックし評価していく取組が重要」などの意見が出ました。これに対してパネリストや

コーディネーターより、「我が社の店舗でも客の購入選択の基準が省エネにシフトしてきている」(家電量販店関西営業部長)

「まちの電気屋さんの取組も支援していきたい。対象品目の拡大も視野に入れたい」(京都市担当係長)

「ラベルを貼る手間以上に売上高への効果が大きいことを販売店に認識してもらうことが取組成功の鍵」(協議会事務局)

「国の制度と地域の取組が共存しつつ進んでいくことが家庭系の省エネ政策の進展のために必要だと認識している」(経済産業省担当課長補佐)

「グリーン購入の仕組みづくりとの連動を考えていきたい」(環境 NPO 代表)

などの意見が出されました。

.....
地域での取組を応援します!
.....

京都府内には約 1000 店近くの家電販売店(スーパーも含む)があるようです。その多くは小規模なお店ですが、長年にわたって地域の家電製品に関する専門家として、修理や部品交換に親切に対応してくれる店が多いです。

地域の販売店のより広範囲な参加と、「家電製品を買うときにどんな

点に気をつけたらいいねん」という消費者の疑問に答えられる地域の省エネ・グリーンコンシューマー(環境に配慮した購買)活動が求められています。現在「京都省エネラベル協議会」には府内の 2 つの地球温暖化対策地域協議会(宮津市エコネットワーク・京のアジェンダ 21 フォーラム)が参加していますが、府内の他地域でも消費者による学習会、実施店舗の見学会、店舗の方々への説明会、等をご要望に応じて積極的に実施していきたいと考えています。ぜひ、京都省エネラベル協議会事務局もしくは京都府地球温暖化防止活動推進センターへお声かけください。

京都省エネラベル協議会の連絡先
TEL 075-751-9865
FAX 075-751-9021
(ひのでやエコライフ研究所気付)
E-mail : info@syoene-label.org
URL : http://www.syoene-label.org

ENERGY-SAVING
省エネラベル
この商品の省エネ性能は?
AAA
省エネ基準達成率 273%
年間の消費電力 150kWh
販売価格+電気代で見ると!
販売価格 180,000 円
10年間の電気代(目安) 33,000 円
合わせて見ると 213,000 円
省エネ製品の選択は地球温暖化を防ぎます。



京都省エネラベル協議会設立記念シンポジウム「なるほど 賢い選び方がある」の様子

「京都省エネラベル協議会」のマークが入った新たな省エネラベル



イベントを活用した啓発活動

@福知山市

このコーナーでは、地域での温暖化防止活動の実践例を紹介します。

報告: 芦田則男 芦田百合子 松尾祥弘
(いずれも地球温暖化防止活動推進員)

この原稿は、7/4に実施した、平成16年度第1回地球温暖化防止活動推進員研修会での「実践活動報告」の内容をまとめたものです。

経緯と概要

6月5・6日に、緑化協会が主催する「緑化祭」が開催されました。昨年度までは、このイベントに環境関係の人が関わることはあまりありませんでしたが、今年度は、福知山市市民環境会議のメンバーとして、また、地球温暖化防止活動推進員として、私たちが企画に関わっており、その関係で、地球温暖化問題についてブースを出して情報を発信することになりました。

実行部隊となったのは、福知山市環境推進室の職員5名、福知山市市民環境会議の幹事8名、そして、福知山市在住の地球温暖化防止活動推進員3名の、計16名です。

ブースでの啓発活動の内容

< 1 > 展示

- ・温暖化啓発パネル10枚セット。(京都府センター作成)
- ・子供用漫画教材7枚(全国センター作成)
- ・温暖化の影響に関する写真6枚。
- ・パンフレット「身近な地球温暖化対策 家庭でできる10の取り組み」(全国センター発行)

< 2 > 啓発用閲覧コーナー

環境に関する書籍15点を展示。

< 3 > 啓発用資材の展示・説明

京都府センターから、省エネナビ、ワットアワーメーター、ワットチェッカーを借りて展示し、使い方を説明。

< 4 > 太陽光発電実演

太陽光発電で動くおもちゃの実演を実施。会場に来た子供の注意をひきつけるのに非常に大きな効果あり。

< 5 > 風船の配付

環境クイズの解答者に地球儀風船を配付。

< 6 > ビデオ上映

環境省の地球温暖化防止子供ビデオ教材を連続放映。



出展したブースの様子

成果

環境クイズには、350家族、計400名という多くの方々の参加が得られました。クイズは、展示パネルを見てもらい、その内容を問う形式にしましたので、温暖化問題についての情報をよく理解してもらえたと思います。加えて、市の環境推進室の方々が適切に説明をしてくださったので、成果があったと思います。親子の「テレビやラジオのつけっぱなしはやめようね」という会話も聞かれました。

また、子供たちは、おひさまの力で動くおもちゃに大変な興味を示していました。太陽光を遮断するとおもちゃの動きが止まる現象が魔法のように感じられるのか、自分でも試してみる子供が多かったです。小学校高学年の子供であれば、太陽光発電がどのようなものであるか理解できていたのではないかと思います。「大きくなったら、このようなものを発明してね」というと、「うんうん」と素直にうなずいてくれました。「いずれは、福知山市から地球温暖化防止でノーベル賞をもらう人が出るのでは」と期待しています(笑)。

さらに、パンフレットの配付も効果的でした。「身近な温暖化対策、家庭

のできる10の取り組み」は、65名の方に説明をしながら配布しました。

今回の企画では、子供につれられてブースを訪れた大人と一緒にクイズに答えてもらうことができました。これにより、参加者数が多かったという数字上の成果だけではなく、大人に温暖化についての情報を伝える事ができたという、実質的な成果をあげられたと思います。

なお、小学校5年生以上であればほとんどの子が温暖化という言葉を知っていることがわかり、少し驚きました。

今後に向けて

今回の企画の課題としては、推進員の立場を前面に出しすぎ、大人の視点からクイズの解答を要求してしまった、ということがあげられると思います。大人と子供が共同で参画して一緒に考える企画、達成感を感じられる企画、環境がよくなることが体験としてわかる企画を組み立てていかないと、これからの社会を担う若い世代を巻き込んでいくことは難しいのかな、と感じています。

「体験の上で温暖化の学習」を提供できるよう、今後も様々な人と協力して活動を進めて行きたいと考えています。



環境クイズ解答者への地球儀風船の配付の様子

特定非営利活動法人

気候ネットワーク

このコーナーでは、府内で温暖化防止に関連する活動を行っている団体を紹介しています。今回は、京都府地球温暖化防止活動推進センター 運営委員長で、気候ネットワーク 代表の浅岡美恵さんに、気候ネットワークの活動について紹介していただきました。

気候ネットワークは、市民の立場から温暖化防止に取り組むNGO/NPOです。1997年に京都で行われた「地球温暖化防止京都会議（COP3）」を成功させるために全国のNGOや市民団体等が連携して活動した「気候フォーラム」の活動を引き継ぎ、1998年4月に設立されました。

今年の夏の暑さに、温暖化が既にとんでもないほど進行していることを実感された方が少なくないでしょう。温暖化への対応が急がれていること、京都議定書を早期に発効させることの重要性を市民や事業者へ伝え、国が、また地域や家庭、事業所がとるべき対策を提案して、社会の仕組みを変えて行く活動に取り組んでいます。

そのため、まず、政府の会議や国際交渉に参加して情報収集・発信に力を入れてきました。「気候ネットワーク通信」「FAX・E-mail ニュース」の定期的発行、国際交渉の会議場からの「kiko」の発信などです。

また、政府の審議会や国際交渉会議、自治体の審議会などでの温暖化政策に関する議論の場をウオッチするだけでなく、積極的に政策提言を行い、さまざまな機会をとらえて政府や議会にも働きかけてきました。今、政府の地球温暖化対策推進大綱の評価見直し、長期エネルギー需給見通しの改定作業中です。情報公開請求も活用して、排出量の公表制度や炭素税など経済的手法の導入など京都議定書の日本の目標達成のためのしっかりとした制度づくりを求めています。

他方で、温暖化をくいとめるためには、意識変革だけでなく、行動として事業活動や家庭でCO₂など温室効果ガスの排出を実際に削減すること、自然エネルギー利用を飛躍的に拡大することが不可欠です。各地の行政や市民団体と連携しながら、省エネ製品選択キャンペーンや環境家計簿による診断、自然エネルギー学校の開設、市民共同発電所づくりなどに取り組んでいるのもそのためです。

市民や行政、事業者と一緒に地域政策づくりに取り組むコーディネーター役も重要な活動です。こうした気候ネットワークの活動を多くのボランティアの方々が支えています。

京都府の温暖化防止活動推進センターは、温暖化に取り組む人々を幾重にも広げ、全国に先駆けた取り組みを実践していく場だと思っています。昨年度は早速に、推進員研修や御所南小学校の5年生を対象とする「温暖化防止教室」を協力して実施しました。小学校の先生や地域の方々とは何度も議論を重ね、おもしろいアイデアや工夫のある参加型のプログラムを実施することができました。

京都議定書が生まれたこの京都は、温暖化防止型の地域をつくっていく先進的な試みや率先活動を行うことが求められ、世界から注目されています。様々な立場の方が集まり、企画を創り、活動を実践していくことで、CO₂削減の効果を上げ、その期待に応えることができるのではないのでしょうか。京都府センターには、今後もぜひ各主体や市民の「つながり」の「橋渡し役」を担っていただければと思います。気候ネットワークも、その中の一団体として寄与したいと思っています。



左：「市民が進める温暖化防止2003」の全体シンポジウムの様子

右：京都府センターと協力して実施した環境教育の様子

連絡先
〒604-8214 京都市中京区高倉通四条上高倉ビル305
TEL：075-254-1011 FAX：075-254-1012
URL：<http://www.jca.apc.org/kikonet/>

平成16年8月10日までに寄せられたイベント情報を紹介します。(「要申込」の印がついているイベントは、事前申込が必要です。)

次世代につながる地球環境、共に育とう日本の山と！
『京都フォーラム2004』
初日 8月28日(土)13:00～17:00
会場：京都商工会議所2階(28日)参加費：500円
基調講演『木の文化の復権を通して、日本の森林をよみがえらせる』
パネルディスカッション『山の現状と展望』
懇親会：18:00～20:00(実費負担・要申込)



二日目 8月29日(日)9:00～17:30
京都府美山でのフィールドワーク
申込み：懇親会・宿泊・29日のフィールドワークへの
参加希望者は主催者まで申込みを
参加費：主催者へ問合せを
主催・申込み：関西自然住宅推進ネットワーク

古材文化の学校～学ぼう伝えよう心と技～
第9回 再生建築研究集会

会場：元京都市立立誠小学校
内容：8月28日(土)再生建築研究集会
12:30～13:00 開会式
13:00～14:00 基調講演
14:00～18:00 見学または体験
(見学コース 参加費3,000円)
(体験コース 参加費2,000円)
内容は主催者に問合せを
イベント終了後に懇親会を開催



8月29日(日)再生建築研究集会
一般参加イベント(申込み不要)
9:30～11:30 セミナー「伝統的木造建築の
安全性や耐久性について」【資料代500円】
11:30～12:15 古材で作った楽器の話と音色を
聴く会【無料】

主催・申込み先：特定非営利活動法人 古材バンクの会
TEL：075-532-2103 E-mail：kozaibank@ybb.ne.jp

雨水利用セミナー「雨水利用について」
日時：8月28日(土)13:30～16:30
会場：ひと・まち交流館 京都
内容：講演「水循環と雨水利用」
「公共施設での雨水利用と社会的動向」
参加費：会員：500円 一般：800円
主催：京都・雨水利用を進める会
TEL 075-581-3619 E-mail：ueda1@mbox.kyoto-inet.or.jp

持続可能型環境経営セミナー 第1回
「CSRと環境への取り組み」(CSR: Corporate Social Responsibility)
(第2回10/19、第3回11/16、第4回12/14、第5回1/18)
日時：9月14日(火)13:45～17:00
会場：キャンパスプラザ京都
内容：講演「CSRと環境への取り組み」
「リコーのCSRの考え方と環境への取り組み」
交流会(オプション)17:15～19:00
参加費：一般 5,000円、全5回通して20,000円
環境市民会員 3,000円 全5回通して12,000円
主催・申込み先：特定非営利活動法人 環境市民
TEL：075-211-3521 E-mail：life@kankyoshimin.org



森林ボランティア体験セミナー「森をつくろう」
日時：9月26日(水)10:00～16:00
会場：雲ヶ畑林業センター
内容：講演「地球温暖化防止と森林」
活動交流 野外活動・実習
参加費：500円
主催・申込み先：特定非営利活動法人 コンシューマーズ
京都(京都消団連)
TEL：075-251-1001 FAX：075-251-1003



最新のイベント情報は、Webサイトで紹介しています。
ぜひご覧ください。また、イベント情報をお寄せください。

エコ豆知識

クイズを通して、暮らしの中での温暖化対策の情報をお届けします！

Q.今回は、洗濯に関する問題です。洗濯機で洗濯をする時、少量の洗濯物をこまめに洗う方が省エネになるのでしょうか、それとも、ある程度まとめて洗う方が省エネになるのでしょうか？

(1)少量をこまめに洗う方が省エネ (2)まとめて洗うほうが省エネ

少量の洗濯物を洗う場合も、まとめて多くの洗濯物を洗う場合も、使用する電気の量にそれほど大きな違いはありません。

定格容量の4割を入れて洗う場合と8割を入れて洗う場合を比較すると、8割を入れて洗う場合の方が、年間約3,000円の節約になり、約12kgの二酸化炭素削減につながる。ある程度まとめて洗う方が効率的なのです。(ただし、詰め込みすぎないように気をつけて！)

また、お風呂の残り湯を洗濯に使うなどの工夫もぜひ実行してみてください。

なお、最近は洗濯機も省エネ型のもの、水や洗剤の使用量が少なくすむものなどが販売されています。買い替えの時には、「環境の視点」も取り入れた製品選びをお忘れなく！



A. (2) まとめて洗う方が省エネ

(参考資料：「家庭の省エネ大辞典 第二版」財団法人 省エネルギーセンター)

平成16年度 第1回推進員研修会を実施しました。

7月4日、コープ・イン京都（京都市中京区）において、今年度第1回の地球温暖化防止活動推進員研修会を実施しました。研修会では、国内対策や国際交渉の現状についての情報提供、推進員の活動の実践例報告、地域ごとに別れてのグループワークなどを行いました。

実践例報告では、市民共同発電所設置の事例や、市と協力しての普及啓発事業の事例について報告されました。また、グループワークでは、「推進員が地域で集まって協力して活動を進めていこう」といった意見が出されました。

推進員研修会は、今後、北部地域・南部地域に別れての「知識編」「意志疎通編」の研修の他、太鼓山の風力発電施設等の見学会を実施する予定です。



地球の学校、親子温暖化教室の実施場所が決定しました。

「地球の学校」、「親子温暖化教室」を協力して組み立て実施して下さる方々を募集したところ、地球温暖化防止活動推進員、地球温暖化対策地域協議会関係者、小学校の先生など、多くの方からの応募をいただきました。事業を実施する地域は、下の地図の通りです（一部はすでに実施済みです）。今後、担い手の方々との打ち合わせを重ね、内容を検討していきます。

地球の学校

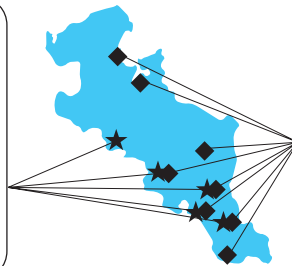
2~4回連続の、大人向け環境教育事業

実施地域

三和町
京都市
城陽市

園部町
長岡京市

地球の学校は「都道府県センター普及啓発・広報事業」の一環として、環境省からの補助を受けて実施します。



親子温暖化教室

小学校高学年とその親を対象とした環境教育事業

実施地域

舞鶴市
京北町
京都市
長岡京市

宮津市
園部町
城陽市
木津町

親子温暖化教室は、京都府から受託している「京と地球の共生推進事業」の一環として実施します。

舞鶴市で参加型の環境教育を実施しました。

舞鶴市主催の小学校4~6年生の児童とその親を対象とした環境教育企画「エコスクールinまいづる」の午後の部を担当する形で、地球温暖化問題に関する参加型の講座を実施しました。

講座では、地球温暖化問題の概要について話した後、自転車発電機体験を行って、普段何気なく使用しているエネルギーの大切さを訴えました。その後、クイズを通して、あるいはワークシートを使って、生活と温暖化のつながりや自分たちにできる地球温暖化対策について考えました。



「ウッドマイレージCO2を組みこんだ京都府産材認証制度」の制度設計を進めています。

京都府からの委託業務として表記の事業を行っています。

ウッドマイレージCO2とは、木材を輸送する際に排出されるCO2の量を表す指標です。京都府産の木材の流通を明確にし、地域の木を使うことが地球温暖化防止につながるということを消費者に明示するための仕組みづくりを行っています。8月中旬に中間案を作成することを目指し、現在、検討会議を重ねています。

調査研究事業を進めています。

昨年度に続き、市民共同発電所の普及に関する研究、省エネラベルを活用した省エネ製品選択促進に向けた研究を実施しています。また、新たに、府内の企業への環境経営の普及に向けた研究事業も実施する予定です。

夏休みの自由研究のお手伝いをしています。

夏休みに入り、自由研究で地球温暖化問題について調べている小学生が事務所を訪れるようになりました。相談窓口業務の一環として、地球温暖化の仕組みや身近な対策などに関する質問にお答えしています。

活動内容は、Webサイトでも紹介しています。ぜひご覧ください。

事務局からのお知らせ

啓発グッズを貸し出しています。

温暖化啓発パネル（A1 サイズ 10 枚セット）や、消費電力計などの啓発グッズを貸し出しています。イベントなどでご活用ください。詳細は、事務局までお気軽にお問い合わせください。

イベント情報をお寄せください。

Web サイト上に「温暖化関連イベントカレンダー」のコーナーを設け、情報を発信しています。ぜひ情報をご活用いただくとともに、皆様の地域で実施されるイベントの情報をお寄せください。

温暖化防止塾にご参加ください。

当センターでは「温暖化防止塾」を毎月第 2・第 4 水曜日の 18:30 ~ 20:00 に開催しています。

温暖化に関わるさまざまな疑問について、参加者が一緒に学んでいくための集まりです。お気軽にお越しください。場所は、センター事務所会議室です。

温暖化防止塾 今後の予定

8 月 25 日 「人間の温冷感について」(松原斎樹 京都府立大助教授)

9 月 8 日 「地産地消の環境指標、ウッドマイレージ CO₂ について」(淵上佑樹)

9 月 22 日 「温暖化 Q&A についてのとりまとめ」(小倉正)

(このあと 10/13、10/27、11/10、11/23、12/8、12/22 にも続けて開催します。)



「天橋立を守ろう！ ~日本三景 地球温暖化防止シンポジウム~」

を開催します！ ぜひご参加ください！

地球温暖化は、気象に異変をもたらし、生態系に被害を与え、私たちの生存をも脅かします。そして、昔から受け継がれてきた身近な自然環境もまた、温暖化によって被害を受けます。このシンポジウムでは、温暖化が進めば甚大な被害を受けると予想される天橋立を望む会場で、温暖化対策の重要性と具体的な対策の方法について、楽しく、そしてわかりやすくお伝えします。

日 時：平成 16 年 11 月 6 日（土） 13:00 ~ 16:00 内 容：温暖化関連ビデオ上映

場 所：みやづ歴史の館 文化ホール

（京都府宮津市鶴賀 2164）

参加費：無料

主 催：京都府地球温暖化防止活動推進センター

宮津市長・京丹後市長からのメッセージ（依頼中）

エコライフクイズ大会

（身近にできて、しかも暮らしも快適なるようなすてきな取組のコツを、クイズ形式で楽しくお伝えします。）

リレートーク

（地域に根差した温暖化対策を実践されている方々に、取組の内容を紹介していただきます。）

詳細な情報は、追って発行するチラシや、Web サイト上でお伝えいたします。

このシンポジウムは、「都道府県センター普及啓発・広報事業」の一環として、環境省からの補助を受けて実施いたします。

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信「うぉーみんぐ」

（平成 16 年夏号・平成 16 年 8 月発行（年 4 回発行））

発行：京都府地球温暖化防止活動推進センター

（特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議）

理事長：郡 篤 孝 運営委員長：浅岡 美恵

〒604-0965 京都市中京区柳馬場通二条上る六丁目 283 番 4

TEL：075-211-8895 FAX：075-211-8896

URL：http://www.kcfca.or.jp E-mail：center@kcfca.or.jp

編集：小倉 正 木原 浩貴 淵上 佑樹

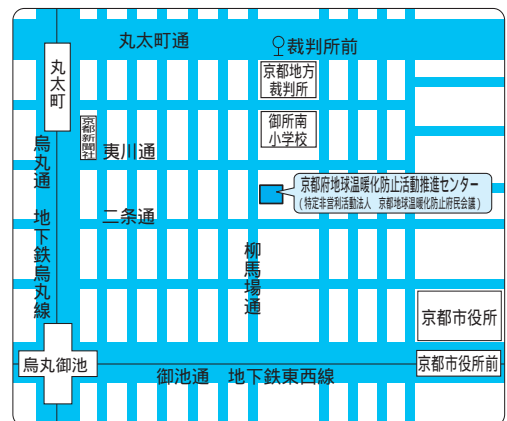
活動を支えてくださる会員を募集しています！

年会費 正会員（個人）：1,000 円 正会員（団体）：2,000 円

準会員（個人）：1,000 円 準会員（団体）：2,000 円

賛助会員：10,000 円

詳しくは事務局までお問い合わせください。



この印刷物は、古紙配合率 100% の再生紙に、大豆油インキで、風力発電による自然エネルギーを使って印刷しています

